

北日本マルチメディア放送株式会社  
第6回 番組審議会議事録

1. 開催日時 2019年10月18日(金) 13:30 ~ 14:30
2. 開催場所 パレスへいあん 会議室
3. 委員の出席 委員総数5名  
出席委員4名  
委員長・大井 祐、小野寺 宣克、佐々木 鉄男、遣水 桂子  
(欠席委員1名:今野 順子)  
会社側の出席者(2名)  
代表取締役社長・稲田 一郎、ほか
4. 議 題  
(1) 社長あいさつ  
(2) 事務局報告  
(3) 番組合評 ( Date fm サイマルチャンネル より  
『 Date fm Sendaian Hot Music 』 )
5. 議事概要  
V-Low マルチメディア放送並びに会社概況の説明・報告を行い、放送番組『 Date fm Sendaian Hot Music 』について審議していただいた。
6. 審議内容  
(1) 社長あいさつ  
稲田社長になって初めての開催となったため、自身の簡単なプロフィールと、ラジオを含む放送を取り巻く状況、V-Low マルチメディア放送の状況について話された。  
(2) 事務局報告  
事務局より会社の近況を説明・報告した。
  - ・ V-Low マルチメディア放送の進捗状況
  - ・ 受信機の普及状況
  - ・ その他(3) 番組合評  
番組概要 『 Date fm Sendaian Hot Music 』  
毎週金曜日 12時00分~12時55分放送  
パーソナリティ:丸井汐里(フリーアナウンサー)  
  
事務局:合評いただく『 Date fm Sendaian Hot Music 』は毎週金曜日の昼12時から12時55分までの55分間、1週間のDate fmで放送した音楽を集約してランキング形式で紹介するという生放送番組で、ウイークエンドに向けて宮城県エリアの1週間の音楽動向を知っていただきたいという意図で制作している。

番組合評として委員より以下の意見があった。

- \* 番組が始まって早々、アップテンポな語りと元気でパワーあふれるパーソナリティーの声に押され気味の印象だった。
- \* ビルボードのチャートと地元のタワーレコード仙台パルコ店のランキングを基に、オリジナルの週間トップ 10 を出してお届けするという内容は、このエリアの音楽文化を牽引する Date fm の番組コンセプトとしてはいいと思う。
- \* Date fm の 1 週間の音楽をランキング形式でという趣旨は分かるが、何を基準にしているのかが不明な感じがした。
- \* ケーキ屋さんの紹介やゲストのトークを挟み、トップ 3 の曲を長く流し、もう一つの建築会社の CM を差し込む作りは、一つの番組として進行にまとまりが無いように感じた。
- \* ケーキ屋さんのハロウィーンの紹介コーナーとか、建築会社の家と完成見学会の告知コーナーとか、全く別の番組のテイストが含まれていて違和感があった。
- \* 営業的な面がかなりありカウントダウンの折角の流れが中途半端になっている感が否めない。
- \* 音楽カウントダウン番組は、土曜日の午後 1 時から放送している『 JA 全農 COUNTDOWN JAPAN 』と似ているような印象を受けた。改めて地元の放送局が制作する意味を掘り下げて考えてもいいかも知れない。
- \* この番組の地域色をどのような形で出していくのか、自社のカウントダウン番組を流すのであれば何か差別化ができるといいと思う。いろいろなランキング形式の番組を聴いていれば分かるのかも知れないが、どこがこの番組らしさなのかが 1 回聴いただけではよく分からなかった。
- \* 金曜日のお昼にこの番組を流すことの意味を少し疑問に感じたところがあり、ほかの委員からもあるように少し仙台色を出すとか、Date fm らしさを出すというところは必要かもしれないが、週を通して音楽に触れるということで、あえて週末の昼帯を狙ったというコンセプトであれば、あまり奇をてらわないこのようなランキング形式の音楽番組もいいのではないかとも思う。
- \* 金曜日の放送ということで、営業の方などが車の中で聴いたり、昼休みに社員食堂などでラジオを流して聴くにはとてもいいと思った。
- \* 平日 12 時の Date fm の役割とは一体何かを考えるべきかも知れない。12 時になったらこれだとか、何か音楽が流れるとか、そのようなブランディングを考えてもいいのではないかと思う。お昼の非常に大切な時間にローカル局が流す番組というのは、もう少し大切にしたいほうがいいのではないかという印象を持った。
- \* 曲紹介がどこか印象に残らない。今はこのような曲が流行っているとか、この曲がアップしたとかダウンしたとか、ジングルの使い方なども含めた工夫でもっと印象に残る紹介の仕方ができると思う。

- \* 曲のランキング動向が前週順位からどのように変動したのか分からないところがあった。毎週必ず聴くとは限らないし、途中から聴く人もいると思うので、その曲の順位が前週からどのように変動したかというのは必要最低限の情報ではないかと思う。
- \* 番組全体が早いテンポで流れていってしまい、意識せずにラジオを流して聞いている人にとってはそれでいいのかも知れないが、この曲いいな、と思ったときに、曲紹介も早いテンポに乗って流れていくので聞き逃してしまう。曲名などを知りたい方もいると思うので曲紹介はもう少しゆっくりしたほうがいいのではないかと思った。
- \* パーソナリティーのインタビューは聞き上手で非常に巧み、ゲストコーナーでもパーソナリティーとしてかなりレベルの高い方だなと、聴いていて安心できる場所があった。
- \* エンタメ系の番組は好き嫌いが少しはっきりするので、合評は非常に難しい。音楽番組としては非常に聞きやすかった。パーソナリティーは滑舌もテンポも良く、このような番組には適していると思う。
- \* 大変素晴らしい番組で、Date fm の制作だとは思わなかった。制作のレベルがいつもより高かったような気がする。それはパーソナリティーによるところが大きく、彼女の様々な経験によるものであることが略歴を見てわかった。Date fm が作る番組ではそこが欠けているような気がする。何を聞いているのかと、途中でいら立ちを感じる時がある。丸井さんは、話す以上に聞き上手だと強く感た。このぐらいのものを作っていないと駄目だと思う。訛りを入れたトークもほどほどにしてほしいと思う。

※ 事務局では今後の番組内容向上の参考とするため上記審議内容を関係者に回覧した。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった措置

「該当なし」

8. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合

インターネットのホームページに掲載（ <http://www.i-dio.jp/> ）  
記載文書の本社備え置き

以 上